

「たまに美味しい物を食べに外出する」「着たい洋服を選びたい」「食べたいお菓子を選ぶ」「野菜を植えたい等の余暇活動に取り組みたい」「家族や近所との団らんを楽しむ」「お風呂に入ってスッキリする」「トイレで排泄をする」これまで当たり前に取り組んでいた、当たり前のこと。要介護の認定を受けた高齢者は、何かしらのハンデがあって、その当たり前のことを当たり前に取り組むことが、少し〜多分に難しくなります。しかし、

当たり前前のことを 当たり前前にできる生活を 目指して。

ノーマライゼーションの理念があります。

高齢者が地域や社会とつながりを持ち、病気や障がいがあっても、他の人々と同じように普通の暮らしができる環境を整えることを目指すものです。



そうした環境を整えるためには、地域の皆さま、ご家族の皆さまの協力は不可欠です。セブン-イレブン喜茂別町店には、移動販売でそうした買い物の機会をいただいております。ご家族の皆さまには、面会や、その際に差し入れがございませす。町民ボランティアには体操を含め余暇活動の充実の機会をいただいております。

もちろん、皆さまにお願いするばかりではありません。施設職員一同、

- ・安全を確保するためのバリアフリー環境を整えること。
- ・ご入居者一人ひとりの生活リズムを尊重すること。
- ・意向とプライバシーに配慮した基本的なケアの徹底。
- ・体調変化に迅速に対応できる体制づくり。
- ・専門的な知識と技術の向上。



などに努め、これからもご入居者一人ひとりの尊厳を守り、いつまでも自分らしい生活を送れるよう、必要なお手伝いを続けてまいります。当たり前前の日常を共に。





行事・レクリエーションの効果



高齢者のレクリエーションとして、外出は、心身の健康維持・向上、社会とのつながり、生活意欲の向上など、さまざまな効果が期待できます。特に、閉じこもり防止や社会参加促進、ストレス軽減、孤独感緩和にも効果的です。



- ① 百寿をお迎えのご入居者がおり、職員・ご入居者一同でお祝いいたしました。
- ② 留寿都高校の生徒が、「花いっぱい運動」で花壇に花を植えてくれました。皆さんで見学中です。
- ③ 「お楽しみ企画！」倶知安まで買い物ドライブ。好物の刺身を購入し昼食でいただきました。



番号①～③は入居施設、番号④～⑥はデイサービスの写真となります。

- ④ ご自分で育てた自慢のお花の前で記念撮影！思わず笑みがこぼれます。今年も上手く育ったそうです。
- ⑤ 洞爺～壮瞥までお花見ドライブに行ってお参りました。「桜の花」と「新緑」で春を満喫いたしました。
- ⑥ 壮瞥の道の駅へ買い物に！旬の野菜と果物をお土産に買って帰りました。イチゴが大人気でした。



◎100%敬語で対応しましょう！

当法人主催の研修「不適切ケアを防ぐサービスマナー」の研修会に参加しました。講師の先生の突き刺さるメッセージに聞き入り、気が付くと2時間の講演が終了。「不適切なケアは、不適切な言葉遣いから」「介護事業者の使命を果たすためには」等々事例と、根拠のある説明に納得することが多くありました。今後の業務に活かして参ります。



◎四季を満喫外出企画実施中！

行事委員会が中心となり、可能な限りご入居者全員に外出していただけるような企画を考案・実施中です。外出後は、高揚感があり、清々しい表情をされている方が多い印象です。疲労感・転倒・脱水に注意し楽しんでいただけるように取り組みます。

